

2026年5月29日
SCSK株式会社

「PROACTIVE AI エージェント」戦略を発表 ～自律型業務遂行を実現する AI エージェントセットの提供を加速し 企業のレジリエンスと人的資本の価値向上の推進へ～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、AI ネイティブな次世代 ERP「PROACTIVE(プロアクティブ)」の AI エージェント戦略を発表します。本戦略では、会計、販売(営業・購買・物流)、生産、人事・給与領域の業務プロセスにおいて自律的な処理を担う「AI エージェントセット」の開発・提供を通じて、各現場における定型業務の効率化と業務負荷の軽減を目指します。なお、AI エージェントセットの開発は、当社 AX 事業本部と一体となって進めていきます。

また、SCSKは「AX(AI Transformation)Enabler」を目指し、AI エージェントを人の意思決定と実行を支える「代行者」として位置付ける「Human-Will Oriented」の考え方を掲げています。人の意志を最優先に尊重し、人と AI が調和するシステム社会の実現を目指します。AI が定型業務を担うことで、人を膨大な定型業務や煩雑なシステム操作から解放し、未来に向けた創造的な活動に注力できる環境の実現を支援します。

1. 背景

労働人口の減少や人的資本経営の推進が急務となる中、多くの企業では従業員がデータ入力などの定型業務に時間を取られ、創造的な業務へ注力できていない現状があります。一方、企業における AI 活用は、AI が ERP や外部サービスと連携しながら自律的に業務を遂行する「自律型 AI エージェント(Agentic AI)」の社会実装フェーズに移行しており、導入に関心を持つ企業が 66%※を超えるなど、市場の需要は急速に高まっています。こうした状況を踏まえ、SCSKは「PROACTIVE AI エージェント」戦略を発表します。複数の専門特化型 AI が自律的に連携・監視し合う「マルチ AI エージェント・オーケストレーション」により、業務課題の解決を促進します。第一弾として、「PROACTIVE」に会計、販売管理、生産、人事・給与の 4 領域に対応した AI エージェントを実装します。SCSKは本戦略を通じて、企業の生産性向上と人的資本経営の高度化を支援していきます。

※ 株式会社矢野経済研究所(国内生成 AI/AI エージェントの利用実態に関する法人アンケート調査(2026年))

2. 本戦略が提供する価値

AI エージェントが業務や状況に応じて自律的に処理手順を組み立てることで、業務全体の効率性と利便性を高めます。ERPの根幹を支えるデータ更新や計算規則などの業務ロジックの執行フェーズでは、確立されたAPIを介し処理を行うことで、人が従来行ってきた操作と同様の結果が得られる設計としています。SCSKは、顧客企業にもたらされる成果を最優先事項とし、以下の4領域に特化したAIエージェントの提供を推進していきます。

- **会計領域への提供価値(17種類のエージェントを提供予定)**

経理部門では、正確性やコンプライアンス確保のため、多くの工数がチェック作業に費やされてきました。本エージェントセットは、財務会計、債権・債務管理を対象に、請求書OCRと連携した仕訳の自動生成や回収消込の自動遂行を支援するとともに、過去の取引パターンや業務文脈を基に異常兆候を検知し、不正や

入力ミスの早期発見をサポートします。これにより、経理業務の負荷を軽減し、経営層による迅速かつ高度な経営判断を可能にします。

● **販売管理・物流領域への提供価値(26種類のエージェントを提供予定)**

販売管理・物流領域では、部門ごとに目的が異なることで情報分断が生じ、欠品・過剰在庫や納期遅延の要因となってきました。本エージェントセットは、在庫状況や物流網のキャパシティ、購買情報などをリアルタイムに統合し、担当者による迅速かつ正確な納期回答を支援します。さらに、物流の負荷や制約を予測し、担当者に調整案や注意喚起を提示することで、現場の過負荷やトラブルを未然に防ぎます。

● **生産領域への提供価値(12種類のエージェントを提供予定)**

生産領域では、計画と実績の差異や突発的なトラブルが納期遅延やライン停止のリスクとなっています。本エージェントセットは、製造指示・実績や投入・手配・受入データを横断的に可視化し、要点や異常を分かりやすく提示することで、現場の初動対応と意思決定を迅速化し、品質・納期・原価の安定化を支援します。

● **人事・給与領域への提供価値(20種類のエージェントを提供予定)**

人事・給与領域では、勤怠・手当・社会保険などの確認作業や問い合わせ対応が特定時期に集中し、大きな業務負荷となっています。本エージェントセットは、給与計算前後のチェックや問い合わせ対応を支援するとともに、スキル情報や離職兆候などを可視化します。これにより、業務品質の向上を図り、定型業務中心の「守りの人事」から、経営に資する「攻めの人事」への転換を支援します。

販売エージェントセット	26	会計エージェントセット	17
<ul style="list-style-type: none"> ● 在庫手配 ● 出荷アラート ● 受注内容チェック ● 受注入力 ● 売上計上 ● 出荷依頼 ● 受注状況確認 ● 出荷状況確認 ● 回収状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発注内容チェック ● 見積内容評価 ● 入荷アラート ● 見積依頼 ● 発注入力 ● 仕入計上 ● 入荷状況確認 ● 支払状況確認 ● 在庫確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 配送状況確認 ● 出荷予定確認 ● 入荷予定確認 ● 在庫アラート ● 在庫状況確認 ● 在庫同期 	<ul style="list-style-type: none"> ● 損益チェック ● 計上催促 ● 計上見込確認 ● 計上内容チェック ● 仕訳入力 ● 仕訳情報確認 ● 回収消込 ● 入金遅延確認 ● 請求計上遅延確認 ● 請求依頼 ● 請求書発行 ● 請求状況確認 ● 支払計上遅延確認 ● 支払遅延確認 ● 支払依頼 ● 支払状況確認 ● 支払通知書発行
生産エージェントセット	12	人事・給与エージェントセット	20
<ul style="list-style-type: none"> ● 朝礼Agent ● 速報Agent ● タ礼Agent ● 締めチェック ● 手配依頼のたたき作成 ● 原価シミュレーション ● マシントラブル時サポート ● 品質不良発生時サポート ● 生産状況問合せ ● 安全在庫見直し提案 ● 標準作業時間見直し提案 ● 歩留率見直し提案 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフイベント・手続き案内 ● 規程改定&アナウンス生成 ● DE&I・情報公表データ算出 ● 目標設定・評価バイアスチェック ● 退職・エンゲージメントアラート ● 中途採用レジュメスクリーニング ● 1on1面談アシスタント ● スキルマップ・リスクリソング推奨 ● オンボーディング伴走メンター ● 1人事異動・配置最適化シミュレーター 	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤怠エラー・36協定アラート ● 給与計算ダブルチェック・差異分析 ● 社保適用・働き方シミュレーター ● 年末調整・算定基礎不備チェック ● 在職老齢年金・シニア働き方最適化 ● 社員情報変更・マス自動更新 ● 経費精算・現物給与自動判定 ● 賞与インセンティブ計算シミュレーター ● 海外赴任者・グローバル給与計算 ● 退職金・確定拠出年金シミュレーター 	

(提供予定の AI エージェントセット)

3. 今後の展望

SCSKは、会計および販売管理領域を注力分野と位置付け、AIエージェントの提供を加速します。7月以降、限定顧客への提供を開始し、順次一般のお客様へ展開していく予定です。各業務領域のAIエージェントを連携させる

ことで、複数の業務シナリオに対応し、企業全体の業務高度化を支援していきます。AIエージェント時代の経営変革のパートナーとしてのSCSKにご期待ください。

PROACTIVEについて

PROACTIVE は、SCSKグループのさまざまな知財や業務ノウハウを組み合わせ提供するデジタルオフラインサービスです。AI ネイティブな次世代型 ERP を中核におき、会計、人事給与、販売管理・生産管理まで、各領域の業務課題に解決策を提供する「業務特化型オフライン」と、卸・商社、製造、建設、サービス業向けのベストプラクティスと組み合わせ、各業界が抱える特有の経営課題に対してワンストップで解決策を提供する「業界特化型オフライン」により、「業務効率化・自動化」や「高度な経営判断」を実現します。導入企業数は 7,500 社を超え、多くのお客様にご利用いただいています。

<https://proactive.jp/>

SCSKグループ技術戦略

SCSKグループは、「共創 IT カンパニー」の実現に向けた取り組みを加速するため、技術戦略「技術ビジョン 2030」を推進しています。「技術ビジョン 2030」では、先進デジタル技術の最大活用による事業構造の変革（デジタルシフト）や生成 AI の活用による飛躍的な生産性向上の実現を目指すとともに、蓄積してきた知財を活用した製品・サービス開発を推し進め、お客様や社会、生活におけるさまざまな課題解決に対応していきます。

・SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン 2030」

https://www.scsk.jp/sp/technology_strategy/index.html

SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「豊かな未来社会の創造」、「安心・安全な社会の提供」、「いきいきと活躍できる社会の実現」に資するものです。

- －AI 活用による業務の自律化・高度化を通じて、経営基盤の高度化を支援
- －迅速かつ高度な経営判断を可能とし、企業のレジリエンスの向上に貢献
- ・SCSKグループ、経営理念の実践となる 7 つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

PROACTIVE 事業本部 ビジネスストラテジー&マーケティング部 町田

TEL:03-6772-9700

E-mail:proactive@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 岡本

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。